

学年通信 5月号

第二学年
2025.5.1 No.2

学級目標が決定しました。

- 2年1組**…「みんなが活躍し、ルールを守り、切り替えができる、やる気にあふれた楽しいクラス」。
クラスの一人一人が、それぞれのポジションで、意欲を持って取り組み、何事にも積極的に行動できるクラスを目指します。そのために、切り替えを大切に、ルールを守りながら自覚と責任感のある、やる気にあふれた楽しい学級を目標に頑張っていきます。
- 2年2組**…「気愛の笑顔で、授業や行事に全力で取り組む HAPPY なクラス」。
新しいクラスで笑顔を大切に、授業や学級行事、学年行事、体育祭や合唱祭等の学校行事にも全力で取り組むクラスを目指します。また、全力で取り組む中で、クラス全員が HAPPY な気持ちになれることも大事にしたいです。

上記のように学級目標が決まりました。皆さん一人一人が、それぞれの学級で、団結力と仲間意識の高まりを目指して欲しいと思います。

さて、2年生になって、一ヶ月が過ぎました。皆さんに大事にしてほしいことは、「やるべきことを後回しにせず、今日、行動する」ということです。日々、「今、何をしなければならないか」を見極め、全力で努力をする。その繰り返しを大切にしてください。そして、2年生の終わりには、一回りも、二回りも成長したみなさんに会えることを楽しみにしています。

春季大会 頑張りました。

いろいろなチームで精一杯、力を合わせて頑張りました。春季大会の結果について紹介します(2・3年生が出場しました)。

- サッカー 優勝
- 男子テニス 団体優勝
 - ・個人の部 1位 3位 3位 ・ベスト8(2組)
- 女子テニス
 - ・個人の部 2位 8位
- 卓球男子
 - ・ダブルス 1位 3位 3位
 - ・シングル 2位 ・ベスト4(3人) ・ベスト8(3人)
- 卓球女子
 - ・シングル 3位

『スケジュール表づくり』と『パレートの法則(80/20の法則)』

2年生に進級してから一ヶ月が経ちました。新しいクラスや授業にも慣れてきた頃だと思います。

さて、2年生の授業で学習する内容は、来年度の進路に向けて、日々の取り組みや積み重ねがとても大事になってきます。しかし、学校から帰宅後の時間は限られているので、効率等少し考えて生活してみてもいいかも知れません。医師で随筆家であった斉藤茂太さん(故人)は、著書の中で、「一日24時間の最大活用術」として、「スケジュール表」の作成とチェック及び「パレートの法則(80/20の法則)」による時間管理の仕方を推奨しています。次に、その内容をいくつか紹介しますので参考にしてみてください。

『スケジュール表づくり』

- ◎まずは、「一日のスケジュール」をきちんと立てることから始めてみるというです。一日一日の積み重ねが一週間となり、一ヶ月につながります。スケジュールを立てることで一日に10分でも節約できれば、一ヶ月で300分、つまり5時間の節約になります。…私は、手帳に「その日のスケジュール」、「一週間、一ヶ月分、数ヶ月先のスケジュール表」を作り、毎日活用しています。そして、一日のスケジュールをチェックして、「どうやったら効率的になるだろうか」と、再検討しています。
- ◎時間をうまく使うコツは、「計画的であるかどうか」です。
- ◎寝る前10分の準備が、明日の仕事の50%を決めると考えています。
- ◎手帳を毎回確認することが、私なりの「スケジュール管理」になっています。

『パレートの法則(80/20の法則)』

- ※イタリアの経済学者 パレートが発見した法則。例えば、「会議の全発言量の80%は、会議に出席した人の20%が占めている。」とか「レストランの全注文の80%が全メニューの20%に集中している。」等の法則。
- ◎スケジュールを立てる時は、重要度を考えて、優先順位をつけてみるというです。そのうち、必ずやらなければならない内容を上位20%に分別します。つまり、その20%の内容をやり遂げたら、全体の80%の内容が達成できたということになります。
- ◎「必ずやらなければならないこと」、「やっておいた方がいいこと」、「やらなければならないが、急がないこと」…以上、重要度を判断して大事なことから始めます。
- ◎簡単な学習から進めるのではなく、理解ができていない学習から進めるといいです(まず、最優先でやらなければならない20%の学習に取り組む)。

(斉藤茂太『時間の使い方のうまい人・へたな人』一日24時間の最大活用術 三笠書房 1990年)